

【保育所版】 秋田県福祉サービス第三者評価 評価結果表

評価実施基準日	平成 24 年 9 月 29 日
評価確定公表日	平成 24 年 11 月 26 日
評価情報更新日	平成 年 月 日

◆ 評価を実施した機関

名称	(特定非営利活動法人) 秋田県福祉施設士会
所在地	(〒 018 - 3454) 北秋田市脇神字高村岱281-4
TEL	(018) 60 - 1071
FAX	(018) 60 - 1071
E-mail	murakou-0101@w4.dion.ne.jp
ホームページURL	

◆ 評価を受審した事業者

法人名称	(社会福祉法人) こひつじ会
法人所在地	(〒 010 - 0041) 秋田市広面字近藤堰添47-1
TEL	(018) 835 - 1227
FAX	(018) 835 - 1270
法人代表者	理事長 小助川次雄
事業所名	こひつじ ^{ホイクメン} 保育園
サービス種別	保育所
管理者名	新田隆幸
開設年月日	平成 14 年 4 月 1 日
	定員数 60 名
TEL	(018) 835 - 1227
FAX	(018) 835 - 1270
E-mail	kohituji@if-n.ne.jp
ホームページURL	

◆ 評価の総評 (優れている点、改善を求められる点)

Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

キリスト教保育理念を基礎として「一人一人の子ども達は自己実現に向けた可能性の種を内包されて生まれる」という「こひつじ園」は、その名の示す如く子ども達は「こひつじ」であり職員は「良きこひつじ飼ひ」に譬えられ、職員研修に重点を置かれた園長の責任とリーダーシップへの情熱はすばらしいといえます。中・長期計画は実践の具体性から割り出され、機会ある毎に職員と保護者に対し事業計画等を周知させながら理解を求めています。今後、更に職員・保護者等が車の両輪なることを願い、益々地域に必要とされる保育園づくりを期待しております。

Ⅱ 組織の運営管理

歴史あるキリスト教保育の実践を通し、一人ひとりの発達を大切に、職員・給食関係者は全員有資格者で子ども達に接しています。地域との交流では保育園独自事業が展開され、地域ニーズ把握に努めています。何よりも特筆すべきは、月一度の「ちょっぴり運動」で近隣道路や公園などの清掃・除草活動を体験することにより将来のボランティア心を培うべく、又老人施設の訪問や行事への招待、更に一人暮らし老人との親睦会を通しては豊かな心を身につけようとする職員等の懸命なところが評価出来ます。児童の安全管理もクリアしており、組織としては思いやりの根底である「自己肯定感」をもってもらうべく職員と子どもが一体となった関わりを深めており、施設長は職員に対し組織としてのPDCAサイクルを回すべく主張しています。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

利用者を尊重したサービスは、理念に「心の保育・主体性の尊重・子育て家庭支援」を掲げ、「子どもの最善の利益」の追求を継続する中で提供されております。具体的には、「自己肯定感」の育成に職員教育(研修)だけでなく、保育場面全てに施設長のリーダーシップが発揮されています。「自己肯定感」の育成は、職員にとって日々子どもの存在を丸ごと認め、子ども個々に届くように子ども達からの発信に応じていく関わりが欠かせないこととなります。これは、現場において大変大きな課題であり、苦情などになっている場面もあるようですが、それには説明責任を果たすことで、自分たちが提供している保育・保育サービスが理解に変わる機会でもあります。今後の職員のみならず、施設長のリーダーシップのもと、自分達が提供している利用者を尊重した保育・保育サービスに自信を持ってもらい、利用者への説明責任をより良く果たしていける一層の努力を期待します。

A 保育所保育の基本、子どもの生活と発達、保護者に対する支援

「一人ひとりの心の保育」に重きを置いたキリスト教保育理念を掲げ「子どもの最善の利益を保証する保育」を目標に、日々意欲的に、きめ細かい保育が展開されております。園近くの「うらやま」に、子どもたちに同行し訪れてみましたが、キラキラ目を輝かせ、思う存分自然と触れ合う姿をじっくり参観し、伸び伸びとした子ども達の姿を観察しています。保育士たちは一切「禁止の言葉」を言わず走り回る子どもたちを終始笑顔で見守っており、「一人ひとりを大切にしたい」保育の実践を感じることが出来ます。保護者アンケートの「園外保育などを通じて身近な自然に触れている・・・」の設問で100%の評価を得ておりますが当然のことと納得しております。今後とも、自己評価に取り組み、検証して自らの保育を振り返りながら保育と保育サービスの改善に繋げて下さるよう希望致します。

※ その他、特記事項

保護者アンケート結果について、回収率は74.1%、このうち回答者から完全に支持されている項目(100%)は、5項目と高く、利用している保護者とその子どもとの関係が大切に維持され、家庭の雰囲気の中で保護者・子ども中心の方向を示していると思われる。しかし、今後の課題として保育園側は、運営等に対する考え方(不審者対策など)を保護者側に確認しながら、保護者間あるいは職員間との「情報の共有化」に対する組織としての工夫も必要と考えられます。

◆ 細目の評価結果（基本評価53項目）

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
I 福祉サービスの基本方針と組織			
1 理念・基本方針			
(1) 理念、基本方針が確立されている。			
①理念が明文化されている。	a	事業計画書・パンフレット・保護者等説明用の「しおり」にしっかりと明文化されており、入口玄関・各保育室にも掲示されています。	利用者や地域にも、更に理解されるよう努めていきます。
②理念に基づく基本方針が明文化されている。	a	保育理念に基づく基本方針が明文化され、その内容が具体性を示しています。	利用者や地域にも、更に理解されるよう努めていきます。
(2) 理念や基本方針が周知されている。			
①理念や基本方針が職員に周知されている。	a	理念・基本方針は年度末・年度初め職員会議に説明されており、園内研修でも周知に努め、園内にも張り出され、いつでも目に入るよう配慮されています。	
②理念や基本方針が利用者等に周知されている。	b	保護者に対しては入園説明会・総会で配布し説明されていますが、関係機関・地域等へは十分周知されているとはいえませんので今後の課題です。	自己評価後に、園玄関前の掲示板に、理念・方針を張り出したり、園だよりの紙面を増やして、地域の人々への情報も載せ、町内18地域へも回覧するようにしました。
(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。			
①中・長期計画が策定されている。	b	平成24年度事業方針「将来的展望について」の中で短期・中期・長期展望にまとめています。今後の具体的実現に向けた取組みに期待します。	中・長期計画の作成に取り組みます。
②中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	b	「第三者評価」受審は中・長期計に盛り込まれ、今回実現されているものの、その他の事業策定の収支計画内容は今後期待されます。	中・長期計画に連動した収支計画作成に取り組んでいきます。
(2) 事業計画が適切に策定されている。			
①事業計画の策定が組織的に行われている。	b	全ての計画は職員会議等で検討され職員参画の下で策定され実施状況も把握されているが、評価・見直しの機会に欠けており今後の期待となります。	その都度の反省等はしているが、次に繋がる見直しが弱いので、その機会を計画として作成し取り組んでいきます。

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
②事業計画が職員に周知されている。	a	各計画は、全職員に配布しており、職員会議等説明の機会を設けて具体的に周知・理解を深めるように取り組みをしています。	引き続き取り組み、充実させていきます。
③事業計画が利用者等に周知されている。	a	各計画は、園だより、クラスだより、給食だより、保健だより等を通して目標や意図などを伝えて周知しています。	引き続き取り組み、充実させていきます。
3 管理者の責任とリーダーシップ			
(1) 管理者の責任が明確にされている。			
①管理者自らの役割と責任が職員に対して表明されている。	a	「業務分担表」記載、園内各種会議に出席、役割と責任を理解されるよう積極的に取り組み、各お便り・クラス目標等全て目を通し検閲しています。	引き続き取り組み、充実させていきます。
②遵守すべき法令等を正しく理解するための取組が行われている。	a	法令の改正にあわせ園内規定の改正をし、理解のための研修などにも積極的に取り組んでいる。改正された規定は職員に文書で配布し説明しています。	引き続き取り組み、充実させていきます。
(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。			
①質の向上に意欲を持ちその取組に指導力が発揮されている。	a	職員の個人面談（年1～2回・2時間位）・各種会議委員会に参画して質の向上についての意見を述べる。園内グループ別研修会の講師もしています。	引き続き取り組み、充実させていきます。
②経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力が発揮されている。	a	人員配置は主任等意見を参考に適材適所の上個別の役割分担・配置を決定。業務の効率化を目指しては第三者評価実現に指導力が発揮されています。	引き続き取り組み、充実させていきます。
II 組織の運営管理			
1 経営状況の把握			
(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。			
①事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	b	自園の開放や出前保育等でニーズ把握、潜在的利用者のデータ収集に努めようとしていますが、広範囲からの利用者のため状況把握は不十分で、今後、的確な把握の取り組みに期待します。	
②経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組が行われている。	b	担当部署・担当係の立場から予算・決算の課題発見に意見交換をしていますが、経営状況を分析し改善の取り組みは十分とは言えず、今後に期待します。	
③外部監査が実施されている。	c	税理士事務所から会計指導を受けており、法人監査も元国税庁の査察官を務めた税理士が担当しているなど、外部監査の必要性は感じていない。	何でも一律的判断や評価には疑問が残る項目です。

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
2 人材の確保・養成			
(1) 人事管理の体制が整備されている。			
①必要な人材に関する具体的なプランが確率されている。	a	必要な人材や人員体制は「職員業務分担表」で具体化され、保育者・給食職員は全員有資格者で計画実施には十分な人事管理がなされています。	
②人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	b	施設長は職員に対して目標管理による面談を実施されており、今年度からは個々の研修計画と連動させながら意識や能力の向上が図られています。	人事考課制度を取り入れるには、施設の規模などから、難しさを感じます。
(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。			
①職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	b	人員配置を厚くいろいろな就業状況に対応するように配慮され、職員の意向の把握改善に努めていますが、年休取得率の向上に工夫の余地があります。	年休代替職員が数名いないと年休の消化率は向上できないと思われます。確保には、財政だけでない問題も多く、至難なことです。
②職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	b	職員の健康相談・悩みの面談などには取り組んでおり、福利協会も加入していますが、福利厚生センター未加入など、財政面でのフォローの工夫が求められます。	
(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。			
①職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a	保育理念・方針の中に保育の質や求められる保育士像、人間性が盛り込まれており、資質の向上や知識・技能獲得の研修が計画的に行われています。	更に身につく研修、内容の充実に努力したいと思います。
②個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	b	職員一人一人の研修計画はあるものの、取り組みについては不十分な面があり、その教育に携わっている職員自らの研修や自覚・行った結果や反省など考慮する余地があり、工夫する必要があります。	一人ひとりの資質の向上に向けた研修や指導を強化し、目標設定、研究方法、まとめ方等について専門的力を付けさせていきたいと思っています。
③定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しが行われている。	b	報告レポートや報告会、園で活用できる点などは話し合われていますが、研修成果の評価・見直しが今後の課題となるでしょう。	履命や報告で研修内容や学んだ点についての報告はありますが、「成果」は、それらが保育の場でどう生かされているかであり、評価するのは難しいところです。
(4) 実習生の受入れが適切に行われている。			
①実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組が行われている。	a	次代の保育を担う人材育成と位置づけられ、市内外から積極的に受け入れています。意義や方針など全職員で取りまとめ、リエゾン・全般的プログラムがあり、保育への更なる意欲や充実感を口にする実習生が多いようです。	人材育成の面から更に強化していきたいと思っています。

項目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
3 安全管理			
(1) 利用者の安全を確保するための取組が行われている。			
①緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	a	緊急時の各種マニュアル整備や役割等の明示、救命救急講習、AED使用もっており、感染症発生時には日ごとに保護者に情報を渡し協力を求めています。職員・保護者についての連絡網もあります。	安全対策・体制には、「十分」ということはないと思いますので、更に強化を図っていきたいと思います。
②災害時に対する利用者の安全確保のための取組が行われている。	b	災害時訓練の担当者が決っており、マニュアル整備避難訓練・非常用食糧備蓄・発電機の整備もあります。今後、地域との協力関係の見直しが必要です。	避難場所への協力は得ていますが、早急な避難が必要な場合に、手を貸してくれる地域の方々との協力が必要と思っています。その体制作りに努めていきます。
③利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策が実行されている。	b	遊具の安全点検・害虫発生時の消毒や駆除具の設置など不安材料の事例を報告し合いリスクを収集していますが、大事故の事例収集についての学習は今後の課題になります。	ヒヤリハットの活用や定期的な専門的点検を行い安全の確保に努めていきます。
4 地域との交流と連携			
(1) 地域との関係が適切に確保されている。			
①利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	a	月一度の「ちょっぴり運動(近くの道路公園の清掃や除草活動)」、老人施設訪問・行事への招待、民生委員を介した一人暮らし老人達を招いた親睦会、児童館での子育て支援事業など積極的に関わっています。	引き続き努力していきます。
②保育所が有する機能が地域に還元されている。	a	保育所機能を地域の子育て家庭に開放した活動、子育てボランティアとも連携し一緒に活動をしており、地域の施設や保育園情報も地域に還元しています。	引き続き努力していきます。
③ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制が確立されている。	a	ボランティア受け入れ担当者・マニュアルも整備され、意義や方針なども職員に周知されており、体制が確立しています。	引き続き努力していきます。
(2) 関係機関との連携が確保されている。			
①必要な社会資源が明確にされている。	b	実用的な関係機関のリストはあるものの、まとめられたリストではない。リスト化による職員間の情報の共有化が求められます。	情報のリスト化を進め、職員間の共有化を図ります。
②関係機関等との連携が適切に行われている。	b	小学校との連絡協議会、訪問相談等など、現状で出来る範囲以内で行われていますが、具体的課題や事例等の検討は行われていません。今後の課題です。	相手のある課題ですが、できることから取り組んでいきたいと思っています。
(3) 地域の福祉向上のための取組が行われている。			
①地域の福祉ニーズが把握されている。	a	園開放・園外保育事業「おひさまの会」、苦情処理、アンケートの実施、育児相談、園情報誌への掲載、子育て支援ネットワーク協議会を通し他団体情報収集や地域ニーズ把握に努めています。	引き続き取り組み、充実させていきます。

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
②地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	a	園独自事業として園内子育て経験を生かし、子育て相談、未就園児保護者対象の園開放、出張保育（おひさまの会）を更に地域に定着させるべく行われています。	引き続き取り組み、充実させていきます。
Ⅲ 適切な福祉サービスの実施			
1 利用者本位の福祉サービス			
(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。			
①利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組が行われている。	a	内部で使用し、保存する資料（例えば「中・長期計画書」「事業計画書」など）に記載する「理念」や「保育目標」の「表記」については、「統一」した「表記」が望まれます。	訂正個所の統一表記に努めます。
②利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等が整備されている。	b	マニュアルを単独で整備する方法もありますが、既にある保育に関する「マニュアル一覧」の中でプライバシーに関して「加筆」する方法もあります。検討してみてください。	プライバシーに関する箇所を抜き出して整備に努めます。
(2) 利用者満足の向上に努めている。			
①利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取組が行われている。	a	利用者満足の向上に向けては、3年に一度程度にアンケートをとるなどの取り組みが行われております。分析・検討の時間が少ないように思われます。	分析・検討の上、更なる向上へと繋げていきます。
(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。			
①利用者が相談や意見を述べやすい環境が整備されている。	b	相談や意見は、利用者が連絡帳を介して、述べやすいよう工夫されております。正面玄関にも「意見等ボックス」が設置されておりますが、場所として検討が必要でないでしょうか。	「意見箱」は設置以来11年余一度も使われたことはなく、その必要性はいかがと考えます。それだけ他の方法で意見等が伝えられている証拠とと思っています。
②苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能されている。	a	苦情対応マニュアルが整備されておりました。苦情内容及び解決結果については、事業報告書にまとめられ、公開（公表）されております。	
③利用者からの意見等に対して迅速な対応が行われている。	b	自己評価では、「意見等に対する対応マニュアル」が整備されていないので「C」でした。実際は、連絡帳を活用し利用者からの意見に対し迅速に対応されている実態を確認しております。今後「マニュアル」についてご検討ください。	対応マニュアルの改正を行い、意見等に対する対応を職員間で周知しています。
2 サービスの質の確保			
(1) 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。			
①サービス内容について定期的に評価を行う体制が整備されている。	b	サービス内容については、H19年とH22年にアンケート形式で実施しております。アンケートは独自の内容であり、評価できますが、「自己評価がドライン」等内容を参考にしたサービス内容向上の取り組みも期待します。	

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
②評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施されている。	b	アンケートの「結果」については、利用者にも公開（公表）され、組織としても取り組むべき課題についても整理しております。今後改善に向けた実施計画が作成され、質の向上に向けた取組が継続されます事を期待します。	毎年利用者は替わっていきますので、常に改善に向けた取り組みを継続していきたいと思います。
(2) 提供するサービスの標準的な実施方法が確立されている。			
①提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	a	保育の方法は、「こひつじ保育園マニュアル」で文書化されておりますが、マニュアルのなかで個々の保育場面において子どもの活動(例えば登園の場面、食事の場面、遊びの場面、保護者との連携の場面、子育て家庭支援の場面など)での保育士の関わり、配慮事項等を「加筆」することにより、さらにこひつじ保育園における標準的な実施方法が明確になると考えられます	職員全員で検討していきたいと思います。
②標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立されている。	c	保護者から面談を介して意見も聞いているようですが、「仕組みが確立しているか」となれば現在確立していないとの事でした。こどもの発達に合わせた保育実施方法は常に変化が求められると思えます。個々の発達に敏感に対応できる見直しの仕組み確立を期待します	定期的な検証や見直しの時期や方法は文章化した物はないが、職員会議において、不都合等は改正しています。
(3) サービス実施の記録が適切に行われている。			
①利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	a	提出資料「保育の記録」で確認しております。	
②利用者に関する記録の管理体制が確立されている。	b	個人情報取扱規程が整備され、「保護」と「開示」の管理体制は確立しておりますが、管理責任者の任務に「開示」に関する明確な表記が確認できませんでした。情報遵守は、就業規則第44条に明記され、職員に徹底しております。	改正しました。
③利用者の状況等に関する情報が職員間で共有化されている。	a	ケース記録(園児成長発達状況一覧)で共有されている状況を確認しております。共有に必要な事は、「現状を知る」大切さと同様に、そのようになった「フ・吨入」を共有する大切さも必要と考えます。ケース会議の更なる向上を期待します。	
3 サービスの開始・継続			
(1) サービス提供の開始が適切に行われている。			
①利用希望者に対してサービス選択に必要な情報が提供されている。	b	現在 地域に「保育だより」が回覧されているとの事ですので、地元から「こひつじ保育園でしか提供できない自己肯定感の育成」をパンフレット等にわかりやすく社会事例を交え、提供(情報発信)されることを期待します。	今後の動向や活動状況により、徐々に進めていきたいと思います。
②サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	a	聞き取りのようにこれまでは「説明」<「同意」と解釈できる現実がありましたが、調査では、説明したから同意でな、同意にいたる過程を大切に扱うことの必要性から同意を内容とした書面を残すことを求めています。「同意」の言葉でなくとも、サービス開始にあたり利用者が了解した内容が汲み取れるよう現在使用している「説明確認書」の表現についてご検討願いたい部分です。	確認書の内容を改め、同意を盛り込んだものとしていきたいと思います。
(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。			
①保育所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応が行われている。	c	子どもにとっては生活が途切れる事なく継続していく事が必要であり、関わる機関はそれに配慮していく事が求められます。「子育て家庭支援」と言う観点で、保育・保育サービス終了しても、何らかの方法(たとえば地域に回覧されている「園だより」など)に退園後であっても窓口がある事を知らせるだけでも支援や配慮につながっていくのではないのでしょうか。	今後検討していきたいと思います。

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
4 サービス実施計画の策定			
(1) 利用者のアセスメントが行われている。			
①定められた手順に従ってアセスメントが行われている。	a	「組織として定めた様式や手順はない」として「b」でしたが、入園説明会の「面談」においてアセスメントは行われております。手順については、これまで行われている入園児面談を文書化する事で対応できるものが既に有ると受け止めました。アセスメントだけの様式はありませんでした。児童票のなかで子どもの身体状況や生活状況等組織として把握できる状態にあります。	
(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。			
①サービス実施計画が適切に策定されている。	a	園独自の「卒園までに身につけたいこと」の評価票で一人ひとりの特性に応じた保育が提供されている状態が確認できます。	
②定期的にサービス実施計画の評価・見直しが行われている。	b	設問の解釈として「組織として」は行っていないと受け止め、「c」でしたが、個々の発達状態や特性に応じた実施計画は、担任が見直しを行い、保育主任が目を通し、園長が確認する手順で行われており、最終的には関係する全職員に見直された実施計画が周知されております。	

◆ 細目の評価結果（内容評価24項目）

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
1 保育所保育の基本			
(1) 養護と教育の一体的展開			
①保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。	a	キリスト教保育理念を基盤とし、保育方針・目標に基づき発達過程を踏まえ、保育内容を総合的に展開できるように作成されています。保護者支援・食育・地域支援・小学校との連携なども内容に網羅されており。	定期的に見直し、更なる向上に努めていきます。
②乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	a	年間指導計画や個別指導計画、連絡帳、保育日誌で乳児保育のための適切な環境が整備されていることが確認できます。SIDS対策も万全と受け止めます。	引き続き努力していきます。
③1・2歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	a	年間指導計画、個別指導計画や懇談会用書類で確認しております。基本的な生活習慣が身につくように又自我の育ちを支えられるように保育内容や方法で配慮されています。	引き続き努力していきます。
④3歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	a	発達の特徴を踏まえ、一人ひとりの育ちに合わせた保育や5領域で示されている内容を総合的に計画し実践していく保育が求められております。具体的には、年間指導計画、月別の指導計画で実施されていることを確認しています。	引き続き努力していきます。
⑤小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮されている。	a	保育指針で求められている「保育所児童保育要録」の学校への送付は実施されております。又幼・保・小連絡協議会への参加、ふれあい体験入学などが実施され就学を見通した関わりを実践しています。	小学校との連携は課題の一つです。更なる協力体制が取れるよう努めていきたいと思っております。
(2) 環境を通して行う保育			
①生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。	a	物的環境については、工夫できるところは工夫して改善に努めています。園庭に敷いている人口芝生は痛んでいきますので早めの取替えを望みます。人的環境については各指導計画で確認しています。	園舎は築20年以上も経っており、少しずつ不具合も出てきました。こまめに手を入れ、環境整備に努めていきたいと思っております。
②子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。	a	基本的な生活習慣が身につくように配慮されていることが各指導計画、保育日誌や連絡帳、園便りなどで確認できます。	引き続き努力し、充実させていきたいと思っております。
③子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。	a	オープンコーナー遊び、家族ごっこの提供、又随時他のクラスに行って遊べる機会があるなど異年齢との交流が主体的に出来るよう配慮されております。当番活動も指導計画の中に位置づけられています。	引き続き努力し、充実させていきたいと思っております。
④子どもが主体的に身近な自然や社会と関われるような人的・物的環境が整備されている。	a	園が緑豊かな環境の中にあり戸外で過ごす機会が多く、自然物を遊びや環境の中に取り入れていることは、各指導計画などで確認しています。保護者アンケートでは100%という高評価を得ています。	自然の中での遊びは、保育の大事な要素です。今後も多くの機会を設けていきたいと思っております。

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
⑤子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。	a	言語、表現活動が体験できるように、環境が整備されていることを指導計画で確認しています。訪問調査で園内に子どもたちの作品が掲示されていることも確認しています。	今後も子どもたちの成長発達を考慮しながら工夫した保育を展開させていきたいと思ひます。
(3) 職員の資質向上			
①保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。	b	自己評価には取り組まれておりますが、改善にまではいたっておりませんでした。今後、定期的に自己評価ガイドラインに基づいて実施し、検証を実行して保育の改善に繋げてくださるよう希望します。	「自己評価」での改善はあくまでも個人の意識と意欲に基づくため、難しいところではありますすが、検討したいと思ひます。
2 子どもの生活と発達			
(1) 生活と発達の連続性			
①子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。	a	年間指導計画で確認できます。保護者アンケートの中にも個性を大事にし、一人ひとりを尊重しているとの評価が確認できます。	「一人ひとりの受容」は、保育の基本であり、自己肯定感を育む上からも重要な観点です。
②障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a	障害児保育は特別保育事業として位置づけられ取り組まれております。専門機関から相談や助言をうけていることを事業計画で確認しています。	障害児への理解と専門性を学び、更に充実させていきたいと思ひます。
③長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a	安心して過ごせるように環境整備に努めています。引き継ぎ記録で丁寧に引継ぎが行われていることを確認できます。今後夕食・軽食についても検討されることを望みます。	
(2) 子どもの福祉を増進することに最も相応しい生活の場			
①子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	b	児童票育ちの記録で、既往症・予防接種など把握されています。体調のすぐれない子どもへの対応も連絡帳で確認しています。保健便りにはありますが保健計画が作成されておらず、今後作成されることを望みます。	「保健計画」を訪問調査後に作成し、職員会議で検討し周知に努めています。
②食事を楽しむことができる工夫をしている。	a	戸外での食事、育てた野菜での調理など食に関する豊かな経験が出来るよう配慮されていることを各指導計画、食育計画の中で確認できます。今後調理作業の見学などを経験させてくださるよう望みます。	子どもたちの楽しみにしている献立日に昼食への期待感を膨らませるためにも、調理作業の見学も計画していきたいと思ひます。
③乳幼児に相応しい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。	a	検食簿に記載されており献立・調理の工夫に反映されています。行事食や手作りおやつも提供も実施されています。栄養士や調理担当者が食事の様子を見たり、話を聞くことも行われており、好き嫌いなどは発達状況一覧表で確認できます。	引き続き努力していきたいと思ひます。
④健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a	健康診断や歯科検診の結果が記録され、職員会議で周知されています。保護者には健康カード、連絡帳などで伝えられております。今後保健計画を作成し保育に反映させていくことを望みます。	「保健計画」を作成しましたので、保育に反映させながら活用していきたいと思ひます。

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
(3) 健康及び安全の実施体制			
①アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a	主治医からの指示書をもとに、職員間で周知、保護者との密接な連携のもとに対応されております。食事の提供の際には他の子どもとの相違にも配慮されております。	引き続き努力を重ねていきたいと思ひます。
②調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	a	衛生管理マニュアルが作成され職員に周知する勉強会を開催しております。子どもたちの安全確保のためや職員の意識向上のために定期的な検討会開催を望みます。給食委員会の中で検討しあってもよいと思ひます。	今後、給食委員会で定期的に検討するよう改善していきたいと思ひます。
3 保護者に対する支援			
(1) 家庭との緊密な連携			
①子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a	献立表・レシピの配布、食材の産地やサンプルの掲示を実施されております。家庭での食生活を把握するためアンケートの実施を行っております。食育の計画も丁寧に作成されておりました。	引き続き行っていきたいと思ひます。
②家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。	a	日常的な情報交換が連絡帳を通して行われておりました。個別面談も実施されております。発達状況一覧表を作成し職員で共通理解も出来ております。	家庭との共通理解は大きな課題であり、難しい面もありますが、努力していきたいと思ひます。
③子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。	a	懇談会やふれあい保育デイなどを積極的に開催し子どもの発達過程や子育ての方法について共通理解できる機会が設けられております。	園と保育者だけでなく、保護者同士の関わりも多く、良い繋がりが出来ております。続けていきたいと思ひます。
④虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。	a	虐待についてのマニュアルが整備されており、連絡体制が周知されております。早期発見のために利用しやすいチェックリストが作成されております。	早期発見のため職員の研修等に努めていきます。